

【NEWS RELEASE】

2021年11月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

宮坂産業株式会社に「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、宮坂産業株式会社（代表取締役：宮坂 竜司）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、宮坂産業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 多様な産業廃棄物の処理ノウハウ・ネットワークを活かした、廃棄物の適正処理・資源循環利用への貢献

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.6 2030年までに、大気、水、土壌の質および一般ならびにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市のひとりあたりの環境上の悪影響を軽減する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組にしたがい、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

- ② 産業廃棄物の収集運搬におけるエネルギー効率の向上、安全運転指導の徹底による交通事故防止に向けた取組

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



自家消費型太陽光発電による CO2 排出量の削減



土壌改良・不溶化薬品販売による環境リスクの低減



モーダルシフト輸送による CO2 排出量の削減

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。